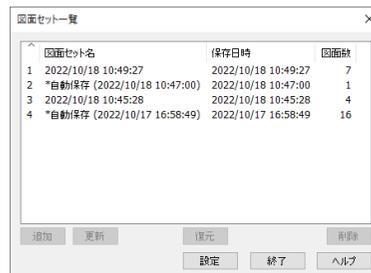
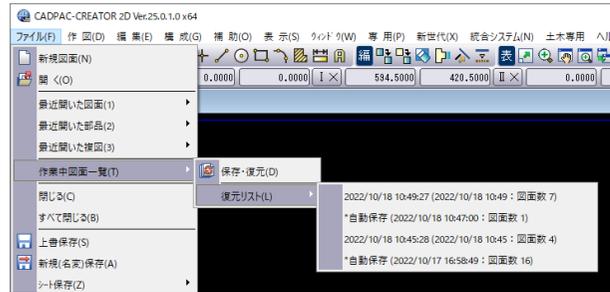


3. 作業中図面一覧 保存・復元

CADPAC 上で開いている全ての図面をまとめて記録し、再起動後も状態を復元することができる新機能です。

[ファイル / 作業中図面一覧 / 保存・復元]

[ファイル / 作業中図面一覧 / 復元リスト]

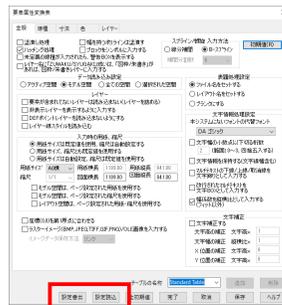


4. DXF・DWG 入出力 設定書出 / 読込

変換条件設定の設定内容をファイルとして書き出し / 読み込み (エクスポート / インポート) できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



DXF・DWG 入力



DXF・DWG 出力

5. DXF・DWG 入出力 文字情報処理設定

文字列要素（テキストオブジェクト、及びマルチテキストオブジェクト）の入出力時、文字の縦横比（幅係数）を維持できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



DXF・DWG 入力

DXF・DWG 出力

6. DXF・DWG 入出力 平行寸法

平行寸法の両外寸形状に対応しました。

それに伴い、DXF・DWG 出力の変換条件設定、寸法タブ内「両外寸」の設定初期値をオンに変更しました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



7. DXF・DWG 入力 平行寸法

入力時、平行寸法の外寸形状が AutoCAD と異なるスタイルで変換されていましたが、変換精度を向上し、外寸内矢として変換されるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]

8. DXF・DWG 入力 螺旋

らせんオブジェクトを線分または B- スプライン要素へ変換対応しました。

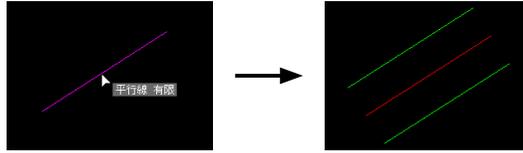
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



9. 平行線

CSBに[7. 両端]を追加しました。対象にした基準線の両側に一括で平行線を作図できます。

[作図 / 直線 / 平行線]



10. スプライン

CSB[6. 変更]で制御点の位置を変更した後、制御点を再選択できるようになり、繰り返し変更可能になりました。

[作図 / 曲線 / スプライン]

11. バルーン

文字入力ボックスの編集モードを「置換」「編集」から選択できるようになりました。

[作図 / 文字記入 / バルーン]

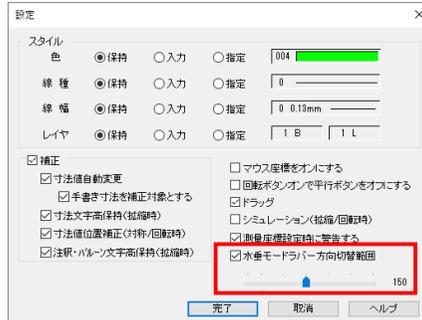


12. 複写、移動

CSB[水垂]モード時、マウスカーソルの位置による水平 / 垂直自動切換えを、指定の数値範囲内で固定できるようになりました。

[編集 / 複写 / 複写]

[編集 / 移動 / 移動]

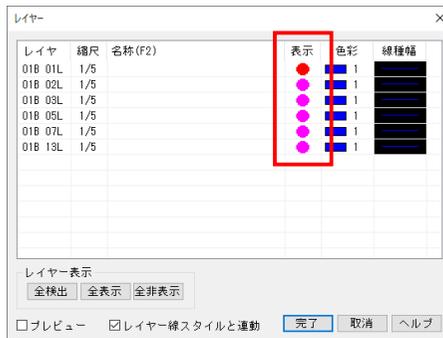


13. レイヤー操作

表示コントロールのマーカーの形状を丸型に変更しました。

また、マーカー左クリックによる表示切替の順序を、紫色（表示オン検出オン）→青色（表示オフ検出オフ）→水色（表示オン検出オフ）に変更し、レイヤー右パネルでの表示切り替え順に統一しました。

[編集 / レイヤー操作 / レイヤー操作 (アイコンツールバー)]



14. グループ操作

「部分解除」に関する動作を一部見直しました。

- ・「部分解除」の対象の選択中、「グループ階層ダイアログ」が非表示になるようにしました。
 - ・「部分解除」からグループを削除した後の挙動を、「全体を解除」実行時の動作に合わせました。
 - ・ 枠選択 CSB で「枠内・枠上・枠外」を自由に選択できるようにしました。
- [構成 / グループ / グループ操作]

15. 要素長

CSB に [2. 重複チェック] を追加しました。

計測対象要素に重なりがあった場合、重複分を除いて計測します。

[補助 / 計測 / 要素長]



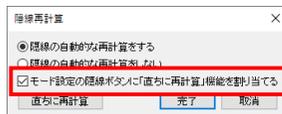
16. 隠線再計算

右パネルのモード設定「隠線」ボタン切り替えによる隠線表示を行ったとき、自動で「直ちに再計算」が実行できるようになりました。

また、隠線再計算ダイアログを「隠線」ボタンをマウス右クリックで呼び出せるようにしました。

[基本操作 4 / モード設定]

[補助 / 隠線パーツ / 隠線再計算]



右クリック